

登録No.  
 登録名  
 催吐性リスク  
 適応疾患  
 投与スケジュール

S-118  
 dose-dence EC療法  
 高度  
 乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パロチン0.75mgパグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	アプレピタント併用 ペグフィルグラスチム併用
Rp.2	エピルピシン 注射用蒸留水 生食	90mg/m <sup>2</sup> 20mL/body 30mL/body		d1	d.i.v.	全開	注射用水20mLで溶解
Rp.3	生食	100mL/body		d1	d.i.v.	全開	エピルピシン・シクロホスファミド 前後フラッシュ用
Rp.4	シクロホスファミド 生食	600mg/m <sup>2</sup> 250mL/body		d1	d.i.v.	60min	

1クールの間  
 その他（副作用・PS規定等）

2週間

副作用： 骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、味覚異常、下痢・便秘、脱毛、倦怠感、心機能障害など  
 ・心毒性あり。エピルピシンの総投与量は900mg/m<sup>2</sup>まで。  
 ・他のアントラサイクリン投薬歴のある場合はエピルピシンの総投与量650mg/m<sup>2</sup>までOKだが、限界投与されている場合は禁忌。  
 ※ペグフィルグラスチム併用（EC療法施行、24時間以降72時間以内）